



## 喜びの種まき

日本には四季があり、お盆が過ぎた頃から吹く風が変わるはずですが、最近では夏の暑さが厳しく、春や秋の季節が短くなって地球の温暖化をひしひしと感じる昨今です。この暑さの中、彩花のスタッフは一生懸命働いてくれています。人と初めて出会った時の印象はいつまでも記憶に残るものです。彩花のスタッフも長年にわたって良い関係性を築けるように出会いを大事にお客様とコミュニケーションをとりながら「喜びの種まき」をしていきます。



金木犀(キンモクセイ)

## 地域に根ざす経営

25年間、事務所を借りて営業してまいりましたが、この度、地域の工務店様にご縁をいただき、念願の事務所を近くに構えることが出来ました。地域のお役に経ちたいという気持ちがあり、10年間ほど子供たちの安全活動のため朝、歩道に立って見守っていました。

そうすることで地域の方達とも親しくなりましたが、引っ越しで少し離れることになりました。引っ越し後、思わぬことが・・・旧事務所の近所の方がわざわざ新事務所にお子様二人を連れてお祝いを持って来られたのです。その時は留守にしていたので、後日、お礼を持って訪問すると、二人のお子さんが居て喜んでくれました。引っ越しする前は、彩花の女性スタッフ達も、毎朝「おはよう、元気？」など明るくお子さんに声かけてして仲良くしていました。

このように仕事をしながら、地域の方たちと連携できる事に感謝でいっぱいです。これからも、地域の行事や活動に参加し、地域にねぎした経営をやっていきたいと思います。



## お掃除を通じて

ホームページを通じてご縁をいただき、20年以上お付き合いさせていただいているお客様がいらっしゃいます。お会いした当初から、ご主人は少し不自由なお身体で、最近ではベッドでの生活をされていました。

担当のM部長が定期的に連絡を取り、困りごとがないかをお伺いし、その都度対応させていただいております。お風呂やエアコンの清掃、不用品の回収、クロスへの貼り替えなど、お役に立てることを心掛けてきました。そんな中、いつものように連絡をすると奥様からご主人の具合が良くないとお聞きました。

すぐお見舞いに行きましたが、その時は会うことができなかったそうです。その後、一週間が経ち、残念なお連絡をいただきました。

数日後、奥様から「落ち着きました。いろいろと心配していただき、ありがとうございました」とお礼のご連絡をいただきました。

お掃除を通じてこのような深いご縁が生まれることに、心から感謝しております。



## サービスは広がる

彩花がお世話になっているクリニックさんのお話です。院長先生から、働くスタッフさんにと、福利厚生でお掃除の依頼を受けて当社でさせて頂いています。その事があり、スタッフの方とも彩花と交流が深まってきているのでしょう。

受付の方やスタッフの方と顔を合わせると、こちらに向けた挨拶・笑顔の感じが変わって来ていることに気付きました。先生が、クリニックのお掃除を通じて感じた喜びを、スタッフの皆さんにも味わって貰い、喜んで頂きたいと言う気持ちがスタッフさんに繋がっているようです。

これも自社の担当スタッフから伝わった、一つのサービスではないかと思えます。

スタッフ全員がこのような対応が出来るようになれば、信頼は永遠に繋がっていきます。

このようなお客様作りを目指して、これからも沢山の信頼を作っていきたいと思えます。



あなたの家のお掃除隊  
**クリーン彩花**

お問い合わせ・お見積りはお気軽に！



0120-400-225

<http://www.c-saika.jp/>

# うれしい話



## ■新聞のお届け

クリーン彩花ではある整形外科病院に毎月清掃で入っています。その病院の清掃に入っている女性スタッフから私の携帯に電話がはいりました。入院中の患者さんから「彩花新聞」が欲しいと言われましたとのことでした。この患者さん(0さん)は彩花が定期的に入っているある介護施設のスタッフさんです。彩花新聞の愛読者でもあります。怪我して2ヶ月入院されていたそうですが、たまたま病院に定期清掃に入っていた彩花スタッフに遭遇され、声をかけていただいたのだそうです。いつも施設に届けられる「彩花新聞」を読むことができず寂しいとのことでした。スタッフに新聞をすぐに届けてもらいました。とても喜んでいただいたと報告を受けました。

## ■後日談

話はこれで終わりではないのです。その後0さんは退院され、リハビリに通っておられるのですが、実は私も肩の事故で同じ病院で手術を受け、偶然同じリハビリでお世話になっています。その療法士さんから「0さんが入院中に彩花新聞を届けてもらったと言っていましたよ」という話を聞いたのでした。

感激しました。

しばらくして0さんがおつとめの介護施設からトイレ清掃の新規依頼がきました。

私も現場に行き、作業のやり方などを責任者の方との打合せに立ち会いました。そこで0さんに初めてお会いすることができました。

病院での彩花新聞の1件ということで大いに盛り上がりました。0さんの働かされている介護施設では、彩花新聞が毎月届いたら所内に貼っていただいているとうかがいました。

その後、リハビリに行きました。療法士のYさんに0さんにお会いしたことを言うと、すでにご存じでした。

そして「わざわざ施設にきてもらったことをとても喜んでおられましたよ」とのうれしい言葉もいただきました。

## ■ふれあいの輪

お客様にA4裏表の新聞を毎号大切に読んでいただくとともに、新聞が話題をはこび、人と人を結びつける。続けてきてよかったと思います。

小さな会社の小さな新聞ですが、そこから仕事も人間関係も広がってくることに喜びと元気をもらっています。これからも「彩花新聞」を届けながら、ふれあいの輪を広げていきたいと思っています(千年)



とても「いい話」ですね～😊

新聞もテレビもSNSも大きくなりとして「メディア」と言われます。

日本語に直すと「媒体(媒介＝なかだちをするもの)」という意味です。

メディアは情報をつたえることで、人と人、会社と人、人ともをつないでいく存在です。今回の話を聞き、メディアの原点というか本質にふれることができたように思いました。

小さな新聞がビジネスの取引や計算を超えて、人と人の気持ちをつなぎ連鎖反応をひき起こしていく。

そして嬉しく温かい気持ちの循環が商いの持続にもつながっていく・・・

今月号のB面は彩花新聞編集長の「千年マネージャー」に登場いただきました(らく)



クリーン彩花号が町を巡回中。  
私たちがお伺いいたします！